

令和元年度第2回岡谷市地域公共交通活性化協議会会議録

日 時 令和2年3月18日(水)
午前10時00分～11時00分
場 所 市役所庁舎6階 603会議室

【次第】

- 開 会
- 会長あいさつ
- 自己紹介
- 協議事項
 - 1、おでかけパス(シルバー回数券)の新規導入について 【資料1】
 - 2、地域間幹線系統確保維持費補助金の活用について 【資料2】
- その他
- 閉会

【出席者】

出席委員

アルピコ交通株式会社、ジェイアールバス関東株式会社、アルピコタクシー株式会社、
諏訪交通株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、岡谷市福祉有償運送運営協議会、長野県
諏訪建設事務所、岡谷市建設水道部、岡谷商工会議所、岡谷市区長会、岡谷市高齢者ク
ラブ連合会、岡谷市民代表、長野県諏訪地域振興局、岡谷市産業振興部 計14人

協議事項に係る出席者

ジェイアールバス関東株式会社、諏訪交通株式会社、諏訪市地域公共交通協議会、下諏
訪町公共交通検討委員会、諏訪市、下諏訪町 計6名

事務局

健康福祉部社会福祉課、企画政策部企画課、産業振興部商業観光課 計7人

<会議録>

(市民憲章唱和)

【事務局長】

本日は、大変お忙しい中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。会議に先立ち岡谷市民憲章の唱和をいたします。次第をおめぐりいただきますと、憲章文がございますのでご覧いただき、恐れ入りますがご起立をお願いいたします。担当が前文を読みますので、「わたくしたちは」からご唱和をお願いいたします。

(市民憲章唱和)

ありがとうございました。ご着席ください。

○開 会

【事務局長】

ただいまから、令和元年度第2回岡谷市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日の議事に入るまでの間、司会進行をいたします、商業観光課長の今井と申します。よろしくお願いいたします。

○会長あいさつ

【事務局長】

続きまして、本協議会の会長であります、藤岡産業振興部長よりあいさつを申し上げます。

【会長】

皆様、おはようございます。岡谷市産業振興部長の藤岡と申します。昨年7月、前任の尾張と同様、経済産業省から出向して参りました。どうぞよろしくお願いいたします。改めまして、本日は年度末のご多用のところ、この岡谷市地域公共交通活性化協議会にご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

岡谷市では、市民の移動手段の確保を目的として、地域公共交通としてシルキーバス等の運行を行なっているところでございますが、最近、利用者数の伸び悩み、財政負担の増大など、様々な課題が出てきているところでございます。こうした課題を少しでも改善していこうと、来年度は新しい取り組みをいくつか始めてまいりたいと考えているところでございます。本日まで事務局の方から、その新しい取り組みについてご説明させていただきます。ぜひ皆様にご理解いただければと思いますのでお願いいたします。

また、本日の協議内容の中にはスワンバスに関係する部分もございます。その兼ね合いから諏訪市様、下諏訪町様から関係者の方にご出席をいただいております。ぜひ委員の皆様

様方におかれましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただければ幸いです。また、地域公共交通の持続可能な体系を目指して取り組んでいかなければならないと思っておりますので、引き続きご支援を賜りたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

<委員紹介>

【事務局長】

次に、令和元年度中に委員の交代がありました4名の皆様に自己紹介をお願いいたします。お手元にお配りしてあります「委員名簿」をご参照ください。アルピコ交通株式会社様から順次お願いいたします。

(各委員自己紹介)

ありがとうございました。

なお、本日の議題であります「おでかけパスについて」、「地域間幹線系統確保維持費補助金の活用について」の協議にあたりましては、諏訪湖周スワンバスの運行に関連する部分もありますことから、ジェイアールバス関東株式会社運輸営業部課長代理 岡見様、また諏訪市、下諏訪町から利用者代表と公共交通担当者にもお越し頂いております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、協議事項に入ります。協議事項は、規約第7条第1項により会長が議長となります。藤岡会長、議事進行をお願いいたします。

○協議事項

【会長】

それでは、議事を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

進行の都合上、2件の議題について議事の最後に一括してご意見、ご質問をお伺いし、お諮りさせていただきたいと思っております。(1)おでかけパス(シルバー回数券)の新規導入について、(2)地域間幹線系統確保維持費補助金の活用について、事務局より説明をお願いします。

【事務局(商業観光課)】

(※資料1、2に基づいて(1)おでかけパスについて、(2)地域間幹線系統確保維持費補助金の活用について説明)

【会長】

ただいまの2件の議題の説明に対しまして、ご意見ご質問がございましたらお伺いしたいと思っております。

初めに、各市町の住民代表の方よりご意見をお伺いできればと思っております。諏訪市様、下

諏訪町様、岡谷市の順でお願いします。初めに諏訪市の飯島様お願いいたします。

【諏訪市住民代表】

諏訪市地域公共交通協議会の飯島と申します。本日はよろしくお願いいたします。まず、おでかけパスの導入についてですが、昨今の高齢者による運転免許証自主返納の流れもあってか、諏訪の警察署管内においても免許証返納者数が増えていると伺っております。諏訪市では昨年秋、免許返納後にかりんちゃんバス・スワンバスの無料乗車体験の取り組みを諏訪市社協に登録のふれあいサロンの関係者の方を対象に実施いたしました。参加者からは、普段は自家用車を使用しているためバスに乗る機会がなく、今後免許返納するにあたり良いきっかけだと思った、あるいは、今までなかなか1人でバスに乗る勇氣、きっかけがなかったが良い体験ができたといった感想があったようです。自家用車での移動により自分のペースで生活していた方々が、買い物や通院をバスの時間に合わせて行なうよう生活を変えなければならないというのは大変なことだと思います。しかし、最近免許返納者数増加の動きに合わせて公共交通を利用するためのきっかけ作りをこのおでかけパスなどの取り組みによって整備していくことにより、今後免許返納を考えている人たちの後押しになれば良いのではないのでしょうかと思います。

続いて、ただいま事務局から説明がありました地域間幹線系統確保維持費補助金の活用についてですが、継続して検討していただき、次回協議会において正式な補助金申請に関しての協議がされることを要望したいと思います。昨年11月に、スワンバス外回り線の運行事業者の移管に関わる協議が2市1町協議会において了承されました。背景にある運転手不足といった問題や財政負担の問題など、公共交通を取り巻く厳しい状況は理解できますので、その中で持続可能な公共交通を目指し、多少なりとも財政的な負担軽減を図るための検討を行なっていただくことは必要なことだと考えます。

一点、事務局にお伺いしたいことがございます。昨年11月の協議会の際、諏訪湖周スワンバスの概要についてご説明がありました。その中に、スワンバスは平成15年7月から運行を開始しているとのことがありました。現時点で運行開始から16年以上が経過している訳です。その間、今回のような運行費への補助金活用を検討した経過はなかったのでしょうか。そもそも検討はなかったのか、検討はしたけれど対象とならなかったのかにより、今後の路線維持のための手段を考える点で影響があるのではないかと感じたところです。

最後になりましたが、2市1町、運行事業者、及び関係スタッフの連携を密に取っていただき、補助金の活用が可能かどうか検討していただいた上で、次回協議会において具体的な説明をいただきますようお願い申し上げます。

【会長】

ありがとうございます。質問が一つございましたので、事務局側から回答をお願いします。

【事務局（商業観光課）】

補助金の検討につきましては、運行が始まってからの過去の経過は分かりませんが、ここ2・3年については協議されていなかったという部分があります。担当者レベルでは、補助金を申請するにあたってこの路線は該当にならないのではないかという話もあったところですが、再度検討した中で対象になりうる路線ではないかということで、この場を借りて協議をさせていただいているというような状況です。

【諏訪市住民代表】

分かりました。ありがとうございました。

【会長】

次に、下諏訪町の林さんお願いいたします。

【下諏訪町住民代表】

下諏訪町公共交通検討委員会で委員をしております林と申します。よろしくお願いたします。

最初におでかけパスの件ですが、今お年寄りの方々は少しでも安ければ乗りたいという方がおられるんだろうなと思いますので、こういったことでそういった方々を後押ししていくということは非常に良いことだと思っております。

一点確認ですが、スワンバスに乗るときにあざみ号やかりんちゃんバスの回数券で乗ることはできるかどうかということなんですけれども。

【下諏訪町】

回数券は乗れませんが、1日乗車券を買っていただくと下諏訪町内も乗れるしスワンバスも乗れます。

【下諏訪町住民代表】

このところがおでかけパスをやるときに、岡谷の皆さんはシルキーバスの回数券でスワンバスに乗ってしまう、そうすると下諏訪、上諏訪で乗られている方々が自分たちのところも乗れるのかと誤解を招くおそれがありますので、そういったところだけは注意していただいて、余計な揉め事を起こさないように配慮いただければありがたいかなと思います。

それから、地域間幹線バス路線確保維持費補助金につきましては、これはぜひとも補助いただけるものであればやっていただきたいと。下諏訪のあざみ号も本数を増やしたら利用者が増えたということがございます。補助金で本数が増えるのであれば、それで使って

みようという方が増えてくるということも考えられますので、ぜひともこういったものは運営の余裕を持たせるという意味でも取っていただいて、より使いやすいものにしてもらえればありがたいと思っております。

【会長】

ありがとうございました。続いて、岡谷市の三井さんお願いいたします。

【岡谷市住民代表】

岡谷市の高齢者クラブの副会長をしております、三井です。よろしく申し上げます。まず最初におでかけパスの件ですが、私たちも年間色々な活動をしてきているわけでありましてけれども、だんだんと年を取って免許を自主返納したいといってもなかなか足がないので返せない、こういう人たちが非常に多い訳です。そういう点ではこういうおでかけパスのようなものを購入していただいて、これから地域の公共交通に対してさらに一枚加わってやっていくということになれば、私たちは嬉しいことなんです。

ただ、問題は本当にそういう返納したいという人たちの地域に十分にどこから来ているのかという実態を調査していただいて、やっていけばなおさら効果的になるのではないかと。とりわけご存知のように、色々新聞等を見ていると交通事故を起こすのは高齢者ということで、大変私たちもある面では社会に色々迷惑をかけているのではないかと常に感じながら活動しているわけでありましてけれども、できるだけこれから自主返納をさらに進めるためにも、できるだけ地域の人たちの意見を聞いていただいて、対応していただくということが大事なことではないかと思っております。そういうことでこれからぜひどんどん進めていただいて、やっていただきたいと。

それからスワンバスの件ですが、各地方自治体で個々に公共交通についてやっておりますけれども、やはりお年寄りもただ単に一つの街に閉じこもるということではなくて、例えば諏訪の中なら下諏訪だとか諏訪だとか、あるいは茅野だとか、こういうところにも色々行きたいという方はいる訳でして、そういう点ではできるかぎり地域のネットワーク作りをもう少し広げていっていただいた方が良いのではないかと。そういう点では国でもそういう政策で進めてはいるんだけれども、やはりそれを具体化していくのは地域でやっていかなければならない訳です。ぜひそういうところの連携プレーを少し密にさせていただいて、諏訪地方を友好的に地域の中でみんなが行き来できるような形を取っていただきたい。そんなことをお願いします。

【会長】

ありがとうございました。事務局お願いします。

【事務局（商業観光課）】

二点お話いただきましたが、まず一点目のバスに乗っている方のニーズですが、今年の1月に川岸線の乗降調査をしております。どこで乗ってどこで降りたかということも当然ですが、利用者に対してバスについてアンケートを直接聞くなど、ニーズについては随時調査をしているところです。新年度につきましても、新たにシルキーバスの調査を継続的に続けまして、今乗っている方のニーズ、またこれから乗っていただく方のニーズをしっかりと把握していきたいと考えております。

また、利用者を増やす部分につきましては、出前講座につきまして内容を変えまして、市の職員が行なう講座であります。その中でバスに乗りやすくするにはどういう工夫が必要なのか、またはマイ時刻表、自分の生活に合った時刻表を作ってもらおうというような取り組みを考えているところです。

二点目の、スワンバスの今後の各市町村とのネットワークについてですが、今年度も高校生に協力いただきまして、各駅でスワンバスに乗ってくださいというPRを、また諏訪理科大の大学生に参加していただき、スワンバスの利用促進のアイデアを出していただいております。今後も引き続き2市1町、または6市町村を通じて公共交通の利用者増に向けて取り組みをしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございます。上沼さん、いかがでしょうか。

【岡谷市民代表】

私も三井さんと同じで岡谷市に住んでおるわけですがけれども、昨年スワンバスを利用させていただいて、とてもあちこち細かく回ってありがたいものですから、ぜひ継続して補助金が申請できたらありがたいと思います。細部に渡って項目がありますので最後まで全部クリアしたらきっと許可が下りるのではないかと期待しております。

【会長】

ありがとうございます。補助金に関して他にご意見はありますか。

まさに今、スワンバスについては地域連携が非常に大事だとお話いただいたところで。行政としても非常にこれは大事だと思っております。行政の連携による利用促進はこれからもやっていかなければならないところかと思っております。その中でぜひ、諏訪市、下諏訪町の行政の方々はこれまで様々な利用促進策をやられているかと思っております。今回はスワンバスのさらなる利用促進ということで、何かご意見だったりこういったことができるということがあればぜひうかがいたいのですが、いかがでしょうか。

【諏訪市】

諏訪市地域戦略男女共同参画課の小林と申します。よろしくお願いいたします。今、事

務局から説明のありましたとおり、2市1町でスワンバスの利用促進につきまして地域発元気づくり支援金を活用して促進を図っているところです。説明にありましたとおり駅の方でお手元にあるポケットティッシュを学生さんに配っていただいたり、アイデアコンテストを開催するという流れになっております。また、バス友について1日乗車券の利用者は少し特典があるといった事業も進めているところです。

【下諏訪町】

下諏訪町の住民環境課でバスの担当をしております清水と申します。今、諏訪市からもお話がありましたが、今年スワンバスの利用促進の取り組みを行っていく中で、バス友といった1日乗車券を使った方が施設で優遇を受けるような話もあったのですが、施設の方からも結構なご協力をいただいております。また、今後も協力してくださるといったお話もあるので、バスも地域の施設とか商店も含めて色々と連携してバスの利用促進に繋がるようなことが出来ていけばいいなと思っております。下諏訪町の住民もあざみ号からスワンバスに乗り換えて町外に出るという乗り方をする人も大変多いので、スワンバスがこれからも維持できるような取り組みをぜひ皆さんと協力してやっていければ嬉しいなと思っておりますので、今後もよろしく願いいたします。

【会長】

ありがとうございます。他に何か委員の方からはないでしょうか。

【ジェイアールバス関東】

おでかけパスの件なんですけれども、事前にお話をいただきまして私どもとしても非常に安心して一緒に進めていきたいと思っておりますが、本日これで決定ということになりますでしょうか。

【会長】

事務局お願いします。

【事務局】

今日の協議会で決めていただきましたら、こちらで国の方に申請を出していきます。だいたい審査に一ヶ月くらいかかるので、それで決定を受けて5月から実施をしたいと考えております。

すみません。申請ではなく届出になります。

【ジェイアールバス関東】

この印刷物のイメージなんですけれども、決定するに当たって私どもと調整はしていた

だけののでしょうか。

【事務局】

調整させていただきます。

【ジェイアールバス関東】

ありがとうございます。

【アルピコタクシー】

次のお話に関連してなんですけれども、シルキーバスの車内でも販売すると記載がありますが、この車内で販売する際にも運転免許を自主返納した事実を証明するものであるとか年齢を証明するものの確認は必要になるのかといった点が1点と、2点目は例えばそれを今日忘れて来てしまった、持ってないよという方への販売はどうするのかといったことと、3点目は予防ですが例えば自主返納を証明するものというのは具体的にどういうものなのか印刷物などでサンプルを運用前に資料としていただけるとありがたいです。以上の3点です。

【会長】

質問が2点ありましたので事務局からお願いします。

【事務局】

まず1点目の確認の部分ですが、免許返納者につきましては市役所の方へ申請していただきますので、そういった所で確認ができます。その時に免許返納者が75歳以上かということも確認できますので、その時の判断でシルキーバスのおでかけパスを発行していきます。また、バスの中での確認なんですけど、当然車内で身分証明を確認するとバス車の運行に対しても大変時間もかかってしまうので、そこは上手く運用できますようにまた調整をさせていただければと思っております。

【会長】

他にはいかがでしょうか。

鉄道輸送との接続という観点からも是非長屋委員からもお願いします。

【岡谷駅長】

岡谷駅の長屋です。先ほどの資料の中にもありましたとおり、高齢者の運転免許証の自主返納が増えていると、確か全国の75歳以上の方が7割を占めていると記憶しています。間違っていたらすみません。私も後10年すると70歳になるわけですが、その時に

安全に運転が出来るのかと思うと不安に感じます。やはり自主返納される方々の移動手段の不安を解消するためにも地域の特性に応じた生活交通の確保維持が非常に重要であると思っております。また、JRから見ても駅で降りられたお客様が次の目的地に行く二次交通の役割を是非果たしていただければと願うわけでございます。諏訪湖周には、たくさんの観光施設がありますので、それらの観光施設と公共交通、それと地域による事業者の皆さん方と連携を蜜にいただければ更なる諏訪エリアの地域活性化にも繋がっていくのではないかと思っております。是非この地域間幹線系統別維持計画を推し進めていただければと強くお願いするところです。以上になります。

【会長】

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。それでは今回2つ来年度の取り組みとして事務局から説明がございましたがそれぞれ取り組みを進めていくことに対してご承認をいただければと思っております。まず（1）にありましたおでかけパスの導入につきまして承認いただけるということですのでよろしいでしょうか。

⇒（異議なし）

ありがとうございます。それでは異議はないということですので、おでかけパスの導入について、今後国土交通省北陸信越運輸局に対しまして届出を出していくという方向で手続きを進めてまいりたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

次に（2）地域間幹線系統確保維持費補助金の活用につきまして、こちらもご承認いただけるということですのでよろしいでしょうか。

⇒（異議なし）

ありがとうございます。それではこちらにつきましては、引き続き正式な申請手続きに向けた準備をさせていただきたいと思っております。その他といたしまして、これまでの議論等も含めて委員の皆様からご意見等ありましたらお願いいたします。それでは事務局の方から何かありましたらお願いします。

【事務局】

特にありません。

【会長】

それでは本日の協議事項につきましては、全て終了しましたので協議の方は終了となります。ありがとうございました。それでは進行を事務局の方にお返しします。

【事務局】

慎重な議論をいただきありがとうございます。またスムーズな議事進行にご協力いただきありがとうございます。なお、地域幹線系統確保維持補助金の活用につきましては、

先ほどご説明させていただきましたが、補助金申請に係る準備を進め改めて皆様にスワンバスを幹線系統として県の確保維持計画に位置付けをするよう進めていきたいと考えております。協議会の開催は5月中旬を予定しておりますが、詳細につきましては改めて通知をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。最後に4月の人事異動により委員交代につきましては、本日の会議資料と合わせましてご依頼の通知を送付させていただいております。委員の交代が必要な場合につきましては、所属団体により氏名を記入して推薦していただきますようよろしくお願いいたします。添付の推薦書により商業観光課までご報告をしていただきますようよろしくお願いいたします。以上をもちまして本日の会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。